



重症児の在宅支援を担う専門職養成のための

インテンシブコース 開催のお知らせ

本コースは地域と連携して重症児の在宅医療支援を行える専門職を養成するために、
小児在宅医療について「退院から地域での生活までを横軸で捉えることができる」
講義と実習の機会を提供することを目的としています。

対象

小児医療に関わり在宅医療に興味がある医療従事者
(医師、看護師、保健師、MSWなど)

予定人数

20名 応募者多数の場合は主催者側で
厳正な審査を行い選考します。

会費

無料 なお修了者には
修了書を授与いたします

募集期間

2015年 **7月27日**(月)～**8月23日**(日)

募集方法

HPより申込フォームを入力いただくか以下のアドレスまでメールにてご連絡ください。

URL:http://www.conet-cap.jp/doctor_education/education_course.html

大阪市大 小児科のHPにもリンク(「重症児の在宅支援を担う医師等養成プログラム」)があります

Mail:pnicu-ic@med.osaka-cu.ac.jp

コース概要

講義 15 単位 実習 2 単位 (全日程参加を原則とします)

講 義

- 《場所》 大阪市立大学医学部学舎 講義室
- 《日程》 **2015/9/26(土)・10/10(土)・11/7(土)・12/19(土)・2016/1/16(土)** の5日間
14:30～17:30 50分の講義を3コマ予定
- 《目標》
 - 重症児の評価が出来る
 - 病院から在宅移行への流れがわかる
 - 在宅移行後に関わる職種の役割を理解することが出来る
 - 重症児が在宅で過ごす上で必要な制度について理解できる
 - 模擬症例を通じて在宅移行を実践できる

実 習

- 以下の施設から2か所予定
- 療育センター
- 訪問診療
- 訪問看護ステーション
- ホスピス
- 重症児のためのボランティア活動
- ※参加希望者と面談を行い
実習先について相談いたします

● 2015.9.26 sat		14:30~17:30
1	本コースの趣旨について	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 教授 新宅 治夫
2	在宅重症児 総論	神戸大学医学部付属病院 腫瘍センター・緩和ケアチーム 特定助教 余谷 暢之
3	病院から在宅へ -在宅移行の実際とポイント-	大阪府立母子保健総合医療センター 新生児科 医長 望月 成隆
4	療育センターの役割と実際	四天王寺和らぎ苑 施設長 山野 恒一
● 2015.10.10 sat		14:30~17:30
5	在宅重症児の見方	神戸大学医学部付属病院腫瘍センター・緩和ケアチーム 特定助教 余谷 暢之
6	地域のかかりつけ医の役割	大阪小児科医会 春本 常雄
7	訪問診療と往診の実際	かがやきクリニック 院長 南條 浩輝
● 2015.11.7 sat		14:30~17:30
8	地域一般病院の役割 -緊急時受け入れとレスパイト-	大阪市立住吉市民病院 院長 舟本 仁一
9	学校における在宅支援	中野こども病院 診療部長 村上 貴孝
10	緩和医療、ホスピスの役割	淀川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス 院長 鍋谷まこと
● 2015.12.19 sat		14:30~17:30
11	相談支援事業	大阪発達総合療育センター 医療相談室 室長 近藤 正子
12	小児における訪問看護の役割と実際	愛染園訪問看護ステーション 看護師 下釜 聡子
13	リハビリテーションの実際	かなえるリハビリ訪問看護ステーション 作業療法士 伊藤 直子
● 2015.1.16 sat		14:30~17:30
14	ボランティアの関わり	大阪市立総合医療センター 小児神経内科 副部長 岡崎 伸
15	重症児の在宅医療を行う上で 知っておいた方がよい制度について	大阪発達総合療育センター 副センター長 船戸 正久
16	在宅移行の実践：グループワーク	

会場



大阪市立大学医学部 (阿倍野キャンパス)

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
TEL:06-6645-3816 FAX:06-6636-8737

Access

最寄り駅 (いずれも徒歩約10分)

- ・JR天王寺駅・近鉄あべの橋駅・地下鉄御堂筋線天王寺駅
- ・地下鉄谷町線天王寺駅・阪堺電車天王寺駅前駅

JR天王寺駅から徒歩の場合

JR天王寺駅南口を出ると大きな交差点をぐるりと囲む大きな歩道橋があります。歩道橋を使って、JR天王寺駅と対角線にある交差点角に渡って下さい。そのまま大きな通りの歩道を西へ(自転車置き場に沿って)進んで下さい。(左手に阿倍野アポロビル、阿倍野ルシアスを見ながら進むことになります。)まっすぐ横断歩道を渡ると、角にある建物が阿倍野メディックスのビルです。医学研究科と医学部の学舎は、阿倍野メディックスの裏側になります。

